

と しょ かん

図書館の本

みなさんは本を読むことが好きですか？本が好きな人もそうではない人も、ぜひ図書館に来てみてください。楽しい本、おもしろい本、ふしぎな本、こわ〜い本など、なんでもそろっています。わからなくて困っていることも、調べることができます。

今回は、図書館が登場する、さまざまな本をあつめました。読むと図書館と本がとても好きになる、図書館に行ってみたくなる、かもしれない、「図書館の本」を、どうぞ。

★は1・2年生くらい、★★は3・4年生くらい、★★★は5・6年生くらいを目やすに、おすすめしているというしるしです。

紹介した本は、新座市の中央図書館、福祉の里図書館、分館でかりられます。みなさんどうぞ読んでみてください。

図書館 HP

にいざ電子図書館



2022. 12 NO. 71

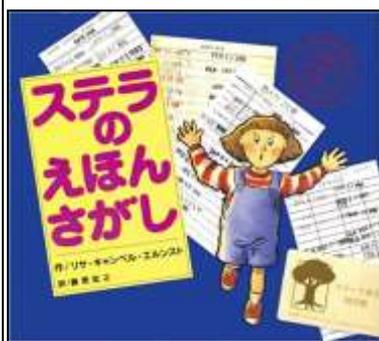
にいざしりつちゅうおうとしょかん

〒352-0011 新座市野火止1-1-2



よるのとしょかん ★

カズノ・コハラ／作 石津ちひろ／訳 光村教育図書（えほんコ）
 どうぶつたちのために よるのあいだけ あいているとしょかんには、カーリーナというおんなのこと、3わのふくろうたちが はたらいていました。ここにやってくる どうぶつたちは、みんな、じぶんにぴったりのほんがみつかる、このしずかなとしょかんが だいすきでした。ところがあるひのこと、としょかんのなかで リスたちが おおきなおとで がっきのえんそうを はじめてしまったのです。



ステラのえほんさがし ★

リサ・キャンベル・エルンスト／作 藤原宏之／訳 童心社（えほんエ）
 ステラが としょかんで かりた本が 見つかりません！ 今日（きょう）の 5じまでに かえさなければ、としょかんの グラム先生（せんせい）を がっかりさせてしまいます。さいごに 本を見た うらにわの ハンモックにも本はありません。でも、そこにいた おとうとのサムが「げんかんにおいた」というではありませんか。さあ、ここから、町じゅうのみんなを まきこんだ、ステラの本さがしが はじまります。



「走る図書館」が生まれた日

—ミス・ティットコムとアメリカで最初の移動図書館車— ★★
シャーリー・グレン／作 渋谷弘子／訳 評論社（010グ）

メアリーは、まだ女性がさまざまな職業につけない時代に生まれました。ある日、司書という新しい職業ができたことを知り、公共図書館で働きはじめます。そして、図書館とは「働く男性や女性、子どもたちのためにある」ということを示したのです。その結果、図書館にはたくさんの住民がおしかけました。それから、次にメアリーが思いついたのは、奥地に住み図書館に来ることができない人たちに荷車で本をとどける「走る図書館」でした。



がんばれヘンリーくん ★★

ヘバリー・クリアー／作 松岡享子／訳 ルイス・ダーリング／絵 学研（933ク）

小学三年生のヘンリーくんは、おこづかいでひとつがいのグッピーを買いました。飼い方がわからないヘンリーくんは、図書館でグッピーの本を借りてきました。本のおかげでグッピーはどんどん大きくなり、あかんぼうを生みましたが、ヘンリーくんのへやはいつの間にか足のふみ場もなくなるくらい、グッピーだらけになってしまったのです。そのほか、バスの中で犬がおおあばれする話、「夜歩き屋」をつかまえる話など、ヘンリーくんのゆかいなお話が6つ入っています。



図書館のトリセツ ★★

福本友美子、江口絵理／著 スギヤマカナヨ／絵 講談社（010フ）

図書館ってどんなところ？どんなふうにするの？本の探し方は？など、図書館を利用するためのガイドブックです。

本に貼ってあるラベルの見方や分類の分け方、調べ学習や自由研究での図書館の利用方法などが書かれています。

とことん図書館を使いこなし、あなたも、図書館マスターになってみてはいかがでしょうか。



「虹いろ図書館のへびおとこ」 ★★

櫻井とりお／著 河出書房新社（913サ）

小学6年生の転校生、火村ほのかは、クラスのいじめがきっかけで学校に行けなくなってしまいます。毎朝、家を出てからのもてあます時間を、おんぼろ市立図書館でつぶすうちに、「へびおとこ」といわされる司書、スタピンスと呼ばれる謎の少年、そしてたくさんの本と物語と出会い、ほのかの心と世界が少しずつ動きはじめます。

たくさんの本を読んだ人が、この本の目次を見ると、きっと「あれ？」と思い、そしてニヤリと笑うかもしれません。